

## 第42回 通常総会資料

平成30年6月12日(火)

名古屋市中村区椿町6-9  
名鉄ニューグランドホテル 7階  
TEL 052-452-5511(代表)

全日本プラスチックリサイクル工業会

愛知県一宮市伝法寺一丁目9番地8  
TEL 0568-77-4033

## 総会次第

1. 開会宣言
2. 会長挨拶
3. 総会成立宣言
4. 議長選出
5. 議事
  - 1) 第1号議案 平成29年度事業報告及び決算関係書類承認の件について  
(監査報告)
  - 2) 第2号議案 平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)承認の件について
  - 3) 第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件について
  - 4) その他 日本合成樹脂有効利用組合脱退の件について(報告)
6. 議長挨拶降壇
7. 事務局より連絡 ・リサイクル推進協議会の表彰について
8. 万歳三唱
9. 閉会のことば

## 環境講演会

演題『「SDGs」2030年をスコープした企業経営戦略！！』

1. 開会のことば
2. 講師紹介
3. 講演(約50分間)
4. 講師お礼及び挨拶
5. 閉会のことば

## 懇親パーティー

1. 会長挨拶
2. 来賓祝辞
3. 乾杯
4. 中々

## 第1号議案

平成29年度 事業報告書

自：平成29年5月1日

至：平成30年4月30日

### 概況

平成29年度の概況は、個人消費が弱含みで推移したものの、設備投資が堅調さを維持し、鉱工業生産も底堅く推移するなど、景気は総じて緩やかな回復基調を辿りました。しかしながら年度前半の円高が企業収益のマイナス要因になったほか、世界各地における地政学リスクの高まりから、先行に対する不透明感が広がりました。一方地域経済は、高齢化や人口減少、空洞化といった構造的な課題を抱え、その担い手である中小企業の多くは、慢性的な人手不足に加え、為替変動に伴う生産コストの調整を強いられるなど、厳しい経営を余儀なくされている状態にあります。

一方我が業界に於きましては、年度の中頃から、OPECの減産宣言に伴う、原油高が始まり、現在では、ナフサも高止まりし、プラスチックの値上げの局面を迎えております。

中国の廃プラの輸入規制や東南アジアのインフラ整備の活発化などで、世界的にプラスチック材料の需要が高まるなか、日本の市況が最安値になっており、比較的円安の流れにも乗じて、材料メーカーの輸出を主にしたビジネスモデルの進行と共に、国内の需給がタイトになってきております。また日本のPP樹脂の30%を供給する大手メーカーのプラント故障もこれを助長しております。

比較的市況の影響を受けにくい、再生材料を更に有効に活用し、こういう機会をチャンスと捉え、我々工業会は、会員ともども協業しながら、生成発展していきたいと考えています。

### 2. 会員の異動

平成30年4月末現在

会員	区分	29年5月	30年5月	増	減	摘要
関東プラスチックリサイクル協同組合		52	52	2	2	
日本合成樹脂有効利用組合		5	0	0	5	脱退
東日本プラスチック再生協同組合		22	25	3	0	
愛知県プラスチックリサイクル協同組合		30	30	0	0	
北陸合成樹脂商工会		4	4	0	0	
京滋プラスチックリサイクル工業会		9	10	1	0	
関西プラスチックリサイクル商工会		14	15	1	0	
九州プラスチックリサイクル工業会		10	10	0	0	
個人会員		3	3	0	0	
合計		149	149	7	7	

※特殊な賛助会員(金網、紙袋等共同購買会社)は、除外します。

### 3. 会議開催状況

#### (1) 総会

- イ. 開催日時 平成29年6月14日(水) 14:00より
  - ロ. 開催場所 名鉄ニューグランドホテル 7階
  - ハ. 出席者数 37名(本人出席25名及び委任状12名)／総数45名
- ニ. 議事の経過及び議決の結果

平成28年度事業報告及び決算を承認したあと、平成29年度事業計画(案)及び予算(案)を議決した。そして、経費の賦課金徴収方法、役員改選を議決した。

#### (2) 第1回常任理事会

- イ. 開催日時 平成29年6月14日(水) 11:00より
  - ロ. 開催場所 名鉄ニューグランドホテル 7階
  - ハ. 出席者数 20名(本人出席20名)+事務局2名／総数22名
- ニ. 協議事項

1. 環境講演会開催の承認について
2. 第41回通常総会、環境講演会、懇親パーティーの役割分担について
3. 平成28年度決算報告、平成29年度予算(案)の審議について
4. カーボンフットプリント(CFP)活動報告について
5. 第4号議案 役員改選について
6. 経済産業省 経済産業局 素材産業課 人事異動について
7. 秋の常任理事会開催について
8. リサイクル推進協議会の表彰について
9. 市況分析・その他

#### (3) 講演会

- イ. 開催日時 平成29年6月14日(水) 14:00より
- ロ. 開催場所 名鉄ニューグランドホテル 7階
- ハ. 出席者数 44名

演題『サーキュラーエコノミー(循環経済)～国際的な潮流と日本～』

講師 環境省 大臣官房 廃棄物リサイクル対策部企画課リサイクル推進室  
室長補佐 井上雄祐氏

#### (4) 第2回常任理事会

- イ. 開催日時 平成29年11月21日(火) 13:30より
  - ロ. 開催場所 新興産業(株)福岡工場
  - ハ. 出席者数 14名(本人出席14名)+事務局1名／総数15名
- ニ. 協議事項

1. JPRA ロゴマークについて(エール国際特許事務所支払い明細書)
2. 中国の廃プラ輸入規制の影響(その2)について

中国の廃プラ輸入規制の影響について経済産業省との打合せ議事録説明

3. CFP アンケートの結果について
  - イ)CFP アンケートの結果、アンケートについての説明
  - ロ)平成30年度 CFP 参加年度更新のご案内  
CFP 宣言参加に関する賦課金のご請求
  - ハ)JPRA・HPにおいてCFPコーナーの実績について
4. リサイクル推進協議会の表彰について
6. 市況分析
7. その他 JISQ9091 概要

(5)第3回常任理事会

- イ. 開催日時 平成30年3月7日(水) 14:00より
  - ロ. 開催場所 名鉄ニューグランドホテル 7階
  - ハ. 出席者数 19名(本人出席19名)+事務局2 名
- ニ. 協議事項
1. 第42回通常総会〔事業報告、決算報告及び事業計画(案)・予算(案)〕及び懇親会について
  2. カーボンフットプリント(CFP)について
  3. 各ブロック『会員資格』調査について
  4. リサイクル推進協議会の表彰について
  5. 市況分析・その他

## 第2号議案

### 平成30年度 事業計画書（案）

自：平成30年5月1日

至：平成31年4月30日

#### 1. 基本方針

原油の価格も50ドル以上の高止まりと、ナフサ価格も45,000円を越えて、東南アジアの各大都市での本格的なインフラ整備の実施と廃プラの輸入を禁じた中国の旺盛な新材プラスチックの購買意識により、主要材料メーカーは、輸出に軸脚を置き、空前の利益をたたき出しております。残念ながら、この状況の元、日本への供給不足によるタイト感 はぬぐえません。安定供給も含めた、プラリサイクル業界への要望が高まる中、全日本として再生事業の生産プロセスのJIS化を審査するコンサルタント会社の紹介をしました。今年度はCFPのPP樹脂以外への拡大を図って参ります。また、CARTECARの実証実験に向けての高度化財団も立ち上がり、将来に向けての有望な市場として、国内外から、多くの異業種も参入してくることが予想されています。産官学連携の中で、CO2の目標削減に向けて更に拍車がかかることが予想されます。益々我が工業会に期待されることも多くなります。今後とも皆さんと協業しながら、生成発展していきたいと考えております。

#### 2. 事業計画

##### (1) 組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性化を図る。

##### (2) 広報宣伝活動

業界紙に広告を掲載する。

ホームページを活用する。

(CFPコーナーを平成29年7月に開設した。)

##### (3) 教育情報、調査研究活動

###### ①組織の拡大強化

組織の強化に努め、工業会の活性を図る。

###### ②業界懇親会開催

業界の現況、今後の見通し及び当面する諸問題（特に環境・リサイクル関連）について情報交換を行い、検討・協議するため懇親会を開催する。

###### ③関係団体等開催の講習会への参加

##### (4) CFPにおいて既に取得済のPP・PE以外でのPS、ABS、PPコンパウンドの3アイテムで取得する。

##### (5) 関係官庁団体との連携

経済産業省 製造産業局素材産業課

環境省 大臣官房 廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室

日本プラスチック工業連盟

(一社) 産業環境管理協会

(一社) プラスチック循環利用協会

日本プラスチック有効利用組合

中国国家質量検閲検疫総局

第3号議案 経費の賦課金徴収方法決定の件(案)

※定款第12条

- ・本会は、その行う事業の費用(使用料又は、手数料をもって充てるべきものを除く)に充てるための会員に経費を賦課することができる。
- ・前項の経費の額、その徴収の時期及び方法その他必要な事項は、総会において定める。

※会費 金7,000円/一社 ※時期—総会后3ヶ月以内

※方法は振込手数料を差し引かない。個人会員は除き各団体単位。

7. 事務局より連絡について

※ リサイクル推進協議会の表彰について

ブロックによって会員数が異なるため、公平性という立場から五つのグループに再編し、そのグループ中で協議してもらい推薦する。

平成30年4月末現在

年度	グループ	各ブロック名(会員数…多少増減はあります)
H30年度	A	関東プラスチック(52社)
H31年度	B	東日本プラスチック(25社)
H32年度	C	愛知県プラスチック(30社)
H33年度	D	北陸合成(4社). 九州プラスチック(10社). 個人会員(3社)
H34年度	E	関西プラスチック(15社). 京滋プラスチック(10社)

計149社

グループの動き(A→B→C→D→E)

H30年度はグループA(関東) (株)ユーアイ社 代表取締役 宇田川初夫氏に決定しました。

※H31年度は、グループB(東日本)にて選出をお願いします。